

民法

1 過去 5 年の出題テーマ

	第 1 問	第 2 問
2025 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・集合動産譲渡担保契約 ・集合動産譲渡担保契約と所有権留保の優劣関係 	<ul style="list-style-type: none"> ・請負契約に基づく報酬請求権との同時履行・相殺等（契約不適合責任）
2024 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・譲渡担保権に基づく物権的請求権行使の可否 ・占有改定による即時取得の成否及び後順位譲渡担保権の実行の可否 ・動産譲渡担保に基づく物上代位と債権質の優劣 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の解除、「第三者」（民法 545 条 1 ただし書） ・契約解除による原状回復請求、不当利得返還請求
2023 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・消滅時効と時効援用権 ・背信的悪意者排除論 	<ul style="list-style-type: none"> ・表見代理 ・数量に関する契約不適合責任
2022 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・詐欺を原因とする意思表示の取消と取消前の第三者 ・詐欺を原因とする意思表示の取消と取消後の第三者 ・意思表示の無効と第三者 	<ul style="list-style-type: none"> ・転貸借 ・債務不履行に基づく損害賠償請求 ・損害賠償の範囲
2021 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・抵当権設定後の従物に対する抵当権の効力 ・抵当目的物たる動産が分離搬出された場合の処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・他人物売買とその追認 ・解除に基づく原状回復 ・民法 416 条の損害の範囲

2 出題形式及び傾向

出題形式

- ・大問が 2 つで構成され各問題に小問が 2 つ設定されていることが多い
- ・問題文の分量は予備試験よりも若干短い

出題傾向

- ・第 1 問は総則物権（担保物権含む）からの出題が多い
- ・第 2 問は契約分野からの出題が多い
- ・繰り返し同じテーマが出題されることがある（契約不適合責任等）
- ・債権総論、不法行為、親族相続からの出題は少ない

3 予想テーマ

第1問

- ・抵当権に基づく妨害排除請求～不法占拠者との関係（最大判平 11.11.24）
- ・抵当権に基づく妨害排除請求～賃借人との関係（最判平 17.3.10 【百選 I 86】）
- ・再度の時効取得の可否（最判平 24.3.16 【百選 I 55】 最判平 15.10.31）
- ・利益相反行為（民法 826 条）の判断基準（最判昭 43.10.8 【百選III 49】）
- ・代理人の権限濫用

第2問

- ・差押えと相殺
- ・債権譲渡と相殺
- ・原賃貸借契約が解除された場合の転貸借の帰趨～合意解除